

# 情報活用能力を発揮して、自信をもって表現する子の育成 ～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをとおして～



京都府立第四錦林小学校



# 学校教育目標

自ら考え 判断し、  
自信をもって行動する子を育てる

## 育成をめざす資質・能力

- ① 場に応じた**表現力** (話す・書く・伝え合う)
  - 多面的に**考える力** (比べる・関係づける)
  - 根拠に基づく**判断力** (目的に立ち返って)
- ② 勇気ある**行動力** (失敗を恐れず挑戦する)
- ③ **他者から学ぶ姿勢**  
(認め合い・学び合い・支え合い)

# 重点目標

エージェンシー  
(子ども主体の学び)

心理的安全性  
(失敗できる環境)

みんなが笑顔  
(持続的で魅力ある学校)

情報活用能力を発揮して

## 自信をもって表現する力

(子ども)	(教職員)
全員が発表する	話し方・聞き方、明確な発問、相互指名
自分の言葉で話す・書く	めあて・まとめ・ふりかえり、ノート指導
言葉以外の方法で表す	多様な表現方法の経験
場に応じた方法で伝える	メディアの特性の理解と、相手意識をもった見せ方・伝え方・情報発信の選択
相手を納得させる	根拠に基づいた情報とその伝え方

- <キーワード> **個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**  
**主体的・対話的で深い学びの実現**

# GIGAスクール構想初年度から

～R2年

生徒指導3機能

まずは、積極的に  
**GIGA端末を使おう**

R3年（1年次）

**表現力**の育成を目指して  
（情報活用能力の育成）

- **目指す姿**を設定して  
系統立てて取り組んでみよう。
- 研究の基盤は、**学級経営**  
研究の目的は、**授業改善**

R4年（2年次）

**情報活用能力を発揮して、  
自信をもって表現する子の育成**

～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをめざす授業改善～

JNK4 教育実践・支援のためのプロジェクト研究助成（1年次）

R5年度も継続中

# 令和3年度まで 資質能力育成表



## 基本的な操作等の指導計画

GIGA端末の「基本的な操作等」指導計画例									
令和3年3月 学校指導課									
【指導の説明】 → 操作を体験する学年、○ 操作を習得する学年	基本的な操作等								
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年(甲)	8年(甲)	9年(甲)
基本操作	電源を入れ、ID-PCでサインインする。	○							
	アプリを終了し、シャットダウンする。	○							
	タップによる操作をする。								
	マウスやタッチパッドによる操作をする。								
印刷と編集	「ロイノート」等で、スクリーンショットで文字や絵をかき、五十音順/ソフトウェアで文字入力を行う。								
	タイピングソフト等を使って、キーボードによる文字入力(ローマ字入力)を行う。								
	10分間で300字程度の文字入力(ローマ字入力)を行う。								
	10分間で400字以上の文字入力(ローマ字入力)を行う。								
ファイル等の管理	「ロイノート」等のカメラ機能を使って、写真、音声、動画を記録する。								
	「ロイノート」等を使って写真等の編集や記録を行う。								
	目的に応じてWindowsの「カメラ」、「フォト」、「ピクチャエディタ」等のアプリを選択し、編集や記録を行う。								
	目的に応じてWindowsの「PowerPoint」、「Word」、「Excel」等のアプリを選択し、意図した編集や記録を行う。								
Web検索	「ロイノート」の「ノート」や「カード」の取り出しや提出、保存を行う。								
	「ロイノート」の「マイファイル」等の管理を行う。								
	「ダウンロードフォルダ」や「OneDrive」等のフォルダで、ファイルの呼び出しと保存をする。								
	「ダウンロードフォルダ」や「OneDrive」等の自分のフォルダの管理を行う。								
オンライン学習	「ロイノート」や「Teams」等を使って、共同作業を行う。								
	ファイルの圧縮、解凍、バックアップをして、管理する。								
	「YAHOO!きっず」等のキッズ用検索サイトでタップして、調べる。								
	キッズ用検索サイトで五十音順/ソフトウェアを使ってキーワード検索をする。								
オンライントレーニング	ホームページの「お気に入り登録」をする。								
	検索サイトでキーワード検索をする。								
	複数のキーワードや条件をエクスプレッションで検索する。								
	目的に応じた検索サービスやデータベース等を使い分ける。								
オンライントレーニング	「Zoom」や「Teams」等のコミュニケーション活動を体験する。								
	「Zoom」や「Teams」等のコミュニケーション活動に主体的に参加する。								
オンライントレーニング	参加方法の選択や、音響・背景等の調整しながら、コミュニケーション活動に参加する。								
	資料等を利用して、コミュニケーション活動に参加する。								

2. 令和3年度(5年) 資質能力の育成表を基に、GIGA端末の基本的な操作等の習得に向け、指導する学年のステップを示したものを、学校の実態に合わせて、該当学年を適宜変更するなど、活用してください。また、小中9年間を見通したものと異なるよう、中学校ブロックで相談・連携してください。

5年	「自ら考え、判断し、自覚をもって行動する子」を育てる。		「自ら考え、判断し、自覚をもって行動する子」を育てる。		「自ら考え、判断し、自覚をもって行動する子」を育てる。		「自ら考え、判断し、自覚をもって行動する子」を育てる。		「自ら考え、判断し、自覚をもって行動する子」を育てる。	
	資質・能力	育成の目標	育成の目標	育成の目標	育成の目標	育成の目標	育成の目標	育成の目標	育成の目標	育成の目標
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37
38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44
45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47
48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48
49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

## 授業実践の記録



# 令和4年度の関連単元配列表

学年	単元	令和4年度 年間指導計画表(関連単元配列表)		「自ら考え、判断し、自信をもって行動する子を育てる」			「高気ある行動力」		2年				
		育成をめざす資質・能力 重視する情報活用能力		多面的に考える力 場に応じた表現力(情報活用)		根拠に基づく判断力 根拠にわたるよう実物、写真、動画等を活用して、工夫して表現する。		※場に応じた表現力		高気ある行動力 法の理解と遵守(モラル)		他者から学ぶ姿勢 相手意識をもって、情報を利用するときの基本的なルールとマナーを守って行動する。	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	算数 1 算数と生活	2 足をはかる	3 計算	4 面積	5 図形	6 時間	7 図形	8 図形	9 図形	10 図形	11 図形	12 図形	
	国語 1 国語と生活	2 国語	3 国語	4 国語	5 国語	6 国語	7 国語	8 国語	9 国語	10 国語	11 国語	12 国語	
2年	算数 2 算数と生活	3 算数と生活	4 算数と生活	5 算数と生活	6 算数と生活	7 算数と生活	8 算数と生活	9 算数と生活	10 算数と生活	11 算数と生活	12 算数と生活		
	国語 2 国語と生活	3 国語と生活	4 国語と生活	5 国語と生活	6 国語と生活	7 国語と生活	8 国語と生活	9 国語と生活	10 国語と生活	11 国語と生活	12 国語と生活		
3年	算数 3 算数と生活	4 算数と生活	5 算数と生活	6 算数と生活	7 算数と生活	8 算数と生活	9 算数と生活	10 算数と生活	11 算数と生活	12 算数と生活			
	国語 3 国語と生活	4 国語と生活	5 国語と生活	6 国語と生活	7 国語と生活	8 国語と生活	9 国語と生活	10 国語と生活	11 国語と生活	12 国語と生活			
4年	算数 4 算数と生活	5 算数と生活	6 算数と生活	7 算数と生活	8 算数と生活	9 算数と生活	10 算数と生活	11 算数と生活	12 算数と生活				
	国語 4 国語と生活	5 国語と生活	6 国語と生活	7 国語と生活	8 国語と生活	9 国語と生活	10 国語と生活	11 国語と生活	12 国語と生活				
5年	算数 5 算数と生活	6 算数と生活	7 算数と生活	8 算数と生活	9 算数と生活	10 算数と生活	11 算数と生活	12 算数と生活					
	国語 5 国語と生活	6 国語と生活	7 国語と生活	8 国語と生活	9 国語と生活	10 国語と生活	11 国語と生活	12 国語と生活					
6年	算数 6 算数と生活	7 算数と生活	8 算数と生活	9 算数と生活	10 算数と生活	11 算数と生活	12 算数と生活						
	国語 6 国語と生活	7 国語と生活	8 国語と生活	9 国語と生活	10 国語と生活	11 国語と生活	12 国語と生活						

「つなぐ」を意識した研究の記録

育成する資質能力(児童の姿)

GIGA端末の「基本的な操作等」指導計画例

**表現力 (場に応じた表現力)**  
指字が聞き取りやすいように、姿勢を整え発音を見て、話す速さや大きさなどに気を付けるようになる。  
また、相手に伝わりやすいように、場に応じて実物を見せたり、写真や資料を見せたり、指差ししたりできるようになる。

**情報活用能力 (情報の情報分析)**  
自分の考えをふせんやカードに表し、整理する。

**情報機器操作**  
ロイノートでカードの送信や提出ができる。

授業実践や指導資料の記録

## R4年度の 取組内容

- GIGA端末を文房具にするための環境整備
- 「目指す姿」を設定して関連单元をつないでいく**関連单元配列表**
- 「つなぐ」を意識した研究の記録について
- 公開授業と研究協議会
- 夏休み自由研究と**自由研究発表会**
- **学習発表会**
- デジタルシチズンシップ授業公開

# 発表における表現力の評価規準

要素	話し方				見せ方		
	姿勢	発声	話型	反応	対象	動作	道具
低学年	まっすぐ立って	口をしっかりと開けて、大きな声で			実物を見せて	演技したり、動かしたりして	大きくして
	聞いている人を見て	声の大きさや、話す速さに気をつけて			写真や資料を見せて	指し示して	
	聞いている人が、よく見える場所で						
中学年			間の取り方を考えて	友だちの意見と自分の意見をつなげて		身ぶり手ぶりを入られて	大型テレビに部分や全体を映して
			「です。ます。である。」を使い分けて	聞いている人の表情や反応を見ながら		大事なところに印をつけて(丸やアンダーラインなど)	ICTを使って(パワーポイントやロイロノートなど)
			大切な言葉や部分を強めに	受け手の反応を確認しながら			
高学年			丁寧語や敬語など、相手や場に応じた言葉づかいで	その場で説明を付け加えて		キーワードを書いたり見せたりして	電子資料や実物などを効果的に用いて(動画も含む)
			事実と意見を区別して	問いかけをしながら			発表に合ったICTを選んで
							ICTの機能を効果的に活用して(アニメーション、音声など)



# 夏休みの自由研究 & 自由研究発表会 (R4)

保護者向けのプリントを作成し、自由研究のイメージを共有

話し方・見せ方について指導し、ふりかえりアンケートを行った。

## 夏休みの自由研究

夏休みは自分の興味・関心に向かって思うままに時間を使えるまたないチャンスです。自分の大好きなことに取り組んだ記録を、自由研究という形ですましましょう。また、2学期には子どもたち同士が見合う自由研究発表を行い、がんばって取り組んだことを友だち同士で認め合ひましょう。

**1 夏休みに入るまでに 自由研究のテーマを決めよう**

- ① テーマ (何について?)
- ② きっかけ (なぜ?)
- ③ 予想 (ゴールは?)
- ④ 計画 (どのように進めるの? 道具は必要? どれくらいの日数がかかるの?)

**2 夏休み 自由研究に取り組み まとめよう**

やってみよう

観察 実験 観察レポート 実験レポート 工作 絵画

まとめよう

GIGA端末を活用してまともめいいですね。

●観察・実験系のまともめ方 (ポスター・観察日記・アルバムなど)  
①研究のきっかけ ②予想 ③準備物 ④実験方法 ⑤実験結果 ⑥分かったこと ⑦参考にしたもの

●体験レポート・調べ学習レポートのまともめ方 (ポスター・新聞・報告文・アルバムなど)  
①研究のきっかけ ②予想 ③準備物 ④調べ方 ⑤分かったこと ⑥感想・気づき ⑦参考にしたもの

●工作・絵画のまともめ方 (自由研究発表会で報告するので、項目をメモしておくとうい)  
①制作のきっかけ ②用意したもの ③作り方 ④工夫したところ・苦戦したところ ⑤感想・気づき ⑥参考にしたもの

**3 2学期 自由研究発表を行い がんばりを認め合おう**

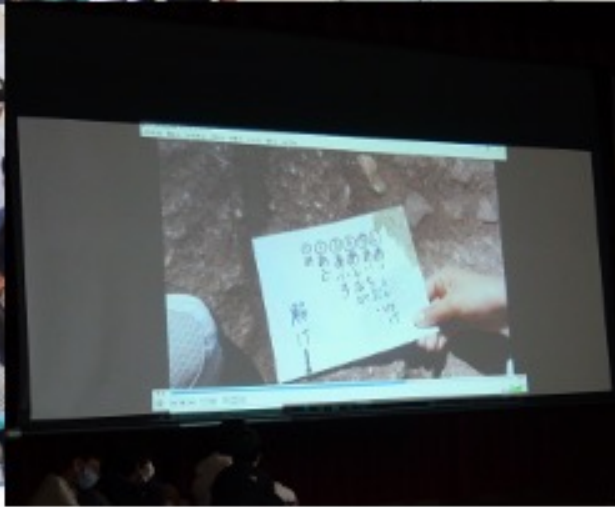
夏休みに実施した自由研究は、クワで発表を行います。ポスターや新聞などにまともめたものを見せたり、工作などは実物を見せたりすると分かりやすい発表になります。発表の内容や発表の仕方についてお互いに評価しあい、自分たちのがんばりを実現し認め合ひましょう。



児童が自ら学びたいと考えたことに向かい合い、生き生きと表現できるようにする。

# 学習発表会 (R4)

これまでの経験や身につけたことを生かして、生き生きと表現できるようにする。



# 「話し方」「聞き方」についての自己評価アンケートの集計 (R4)

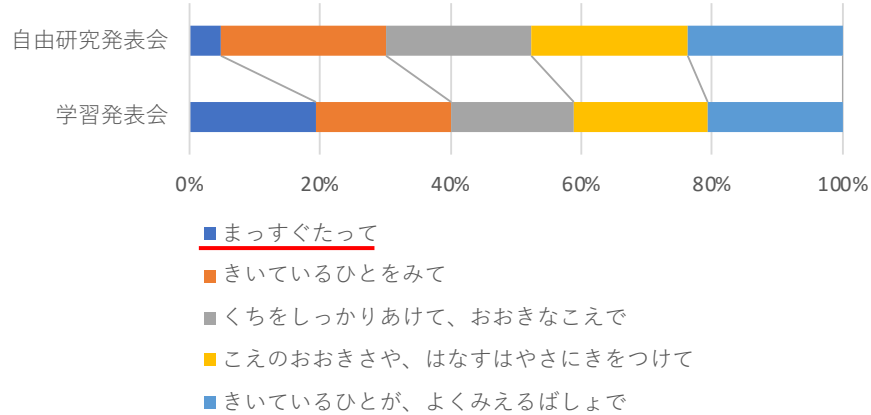
話し方	自由研究		学習発表	
	1年	2年	3年	4年
まっすぐたって	5%	19%	27%	22%
きいているひとをみて	25%	21%	21%	22%
くちをしっかりとあけて、おおきなこえて	22%	19%	15%	21%
こえのおおきさや、はなすはやさにきをつけて	24%	21%	21%	19%
きいているひとが、よくみえるばしよで	24%	21%	17%	16%
	3年		4年	
間の取り方を考えて	15%	18%	21%	19%
「です。ます。である。」を使い分けて	42%	34%	39%	36%
大切な言葉や部分を強めに	18%	19%	14%	19%
友だちの意見と、自分の意見をつなげて	9%	8%	7%	5%
聞いている人の表情や反応を見ながら	16%	21%	20%	21%
	5年		6年	
丁寧語や敬語など、相手や場に応じた言葉づかいて	40%	27%	43%	50%
受け手の反応を確認しながら	30%	31%	28%	26%
その場で説明を付け加えて	30%	42%	29%	24%

見せ方	自由研究		学習発表	
	1年	2年	3年	4年
じつぶつをみせて	40%	22%	51%	40%
しゃしんや、しりょうをみせて	21%	12%	18%	9%
えんぎしたり、うごかしたりして	21%	32%	10%	34%
さしめして	4%	3%	18%	4%
おおきくして	13%	30%	3%	13%
	3年		4年	
身ぶり手ぶりを入れて	16%	32%	22%	48%
大事なところに印をつけて(丸やアンダーラインなど)	15%	23%	22%	19%
大型テレビに部分や全体を映して	34%	0%	8%	0%
ICTを使って	36%	45%	47%	33%
	5年		6年	
電子資料や実物などを効果的に用いて(動画も含む)	34%	54%	29%	38%
発表に合ったICTを選んで	35%	28%	34%	14%
ICTの機能を効果的に活用して	31%	18%	37%	48%

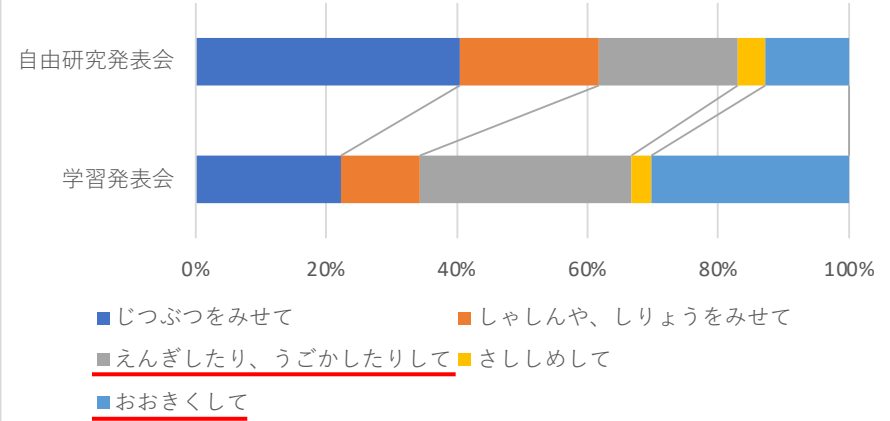
# 低学年 話し方

# 見せ方 (R4)

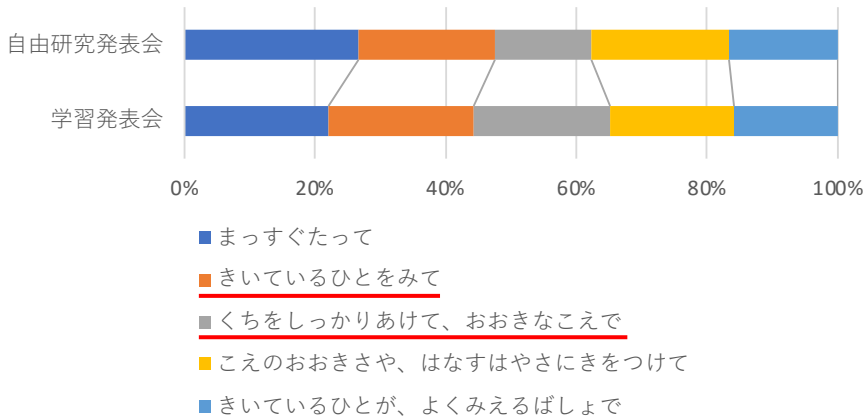
話し方 (1年)



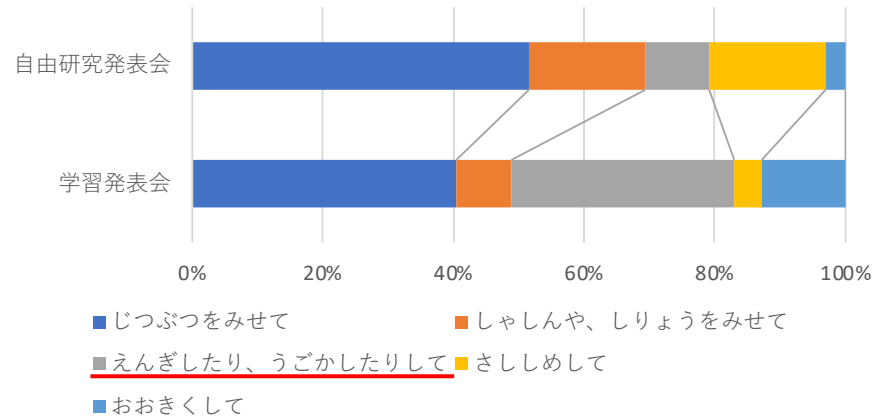
見せ方 (1年)



話し方 (2年)



見せ方 (2年)

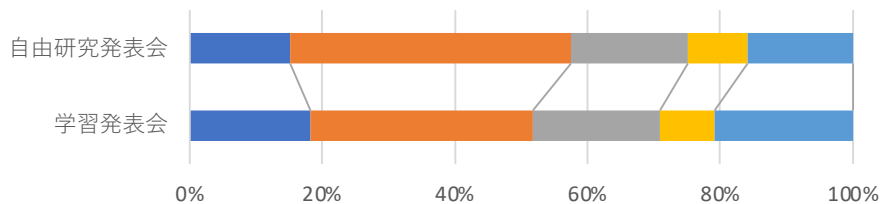


# 中学年 話し方

# 見せ方

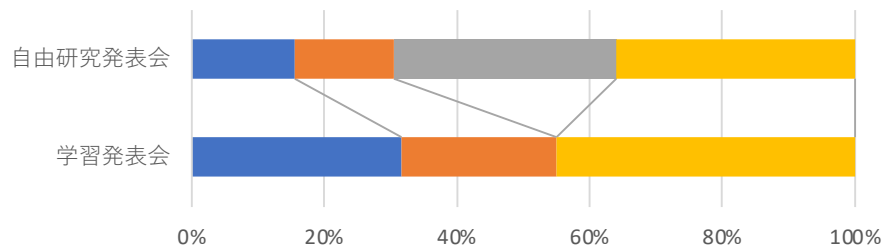
(R4)

話し方 (3年)



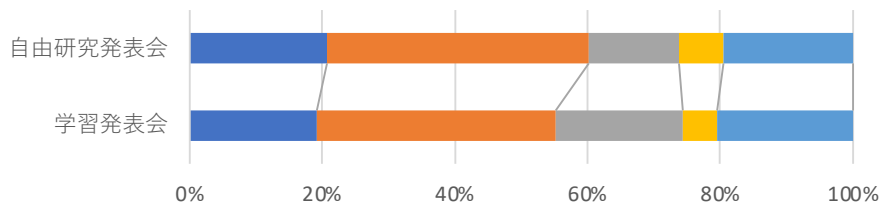
- 間の取り方を考えて
- 「です。ます。である。」を使い分けて
- 大切な言葉や部分を強めに
- 友だちの意見と、自分の意見をつなげて
- 聞いている人の表情や反応を見ながら

見せ方 (3年)



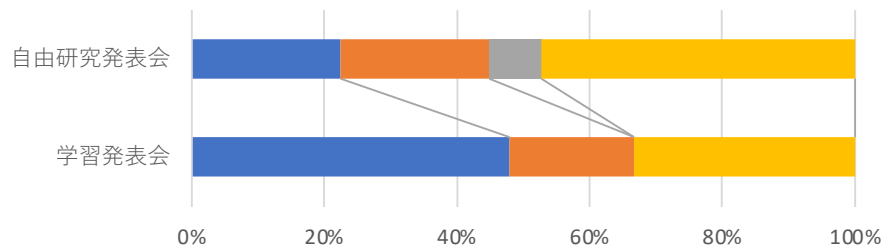
- 身ぶり手ぶりをに入れて
- 大事なところに印をつけて (丸やアンダーラインなど)
- 大型テレビに部分や全体を映して
- ICTを使って

話し方 (4年)



- 間の取り方を考えて
- 「です。ます。である。」を使い分けて
- 大切な言葉や部分を強めに
- 友だちの意見と、自分の意見をつなげて
- 聞いている人の表情や反応を見ながら

見せ方 (4年)

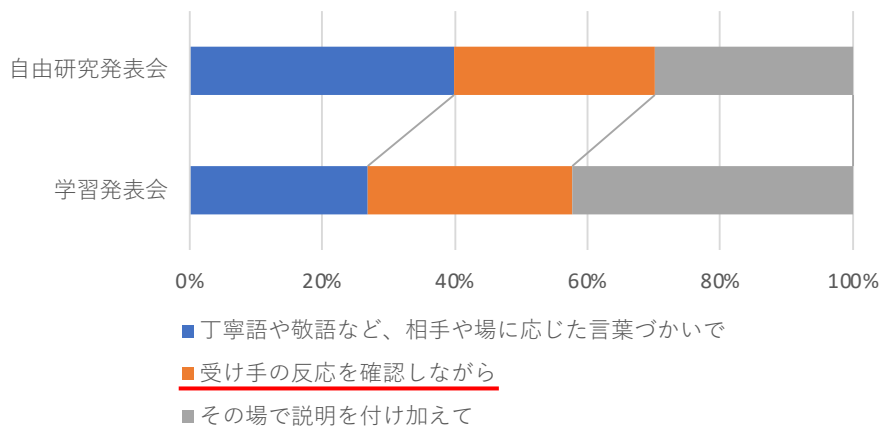


- 身ぶり手ぶりをに入れて
- 大事なところに印をつけて (丸やアンダーラインなど)
- 大型テレビに部分や全体を映して
- ICTを使って

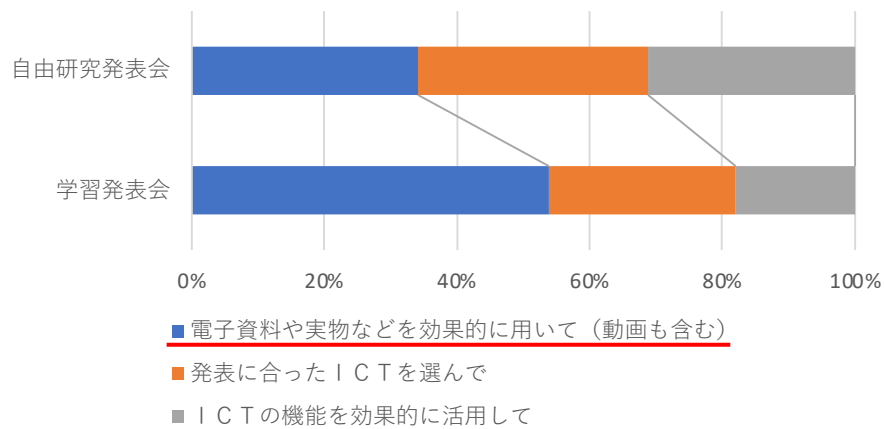
# 高学年 話し方

# 見せ方 (R4)

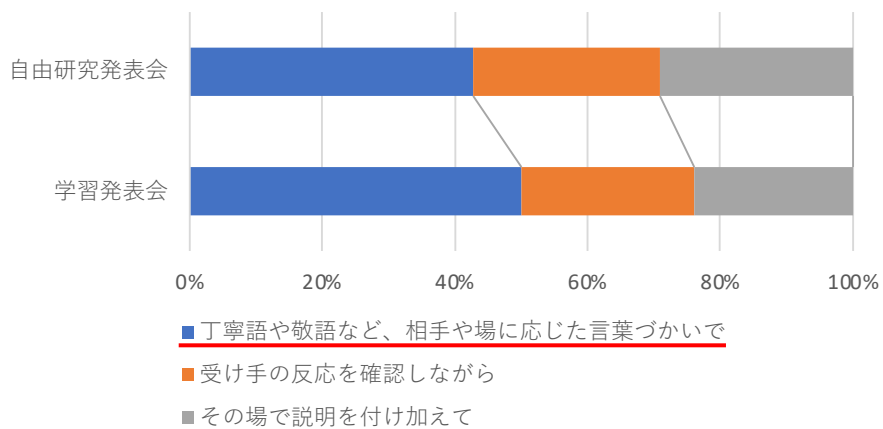
話し方 (5年)



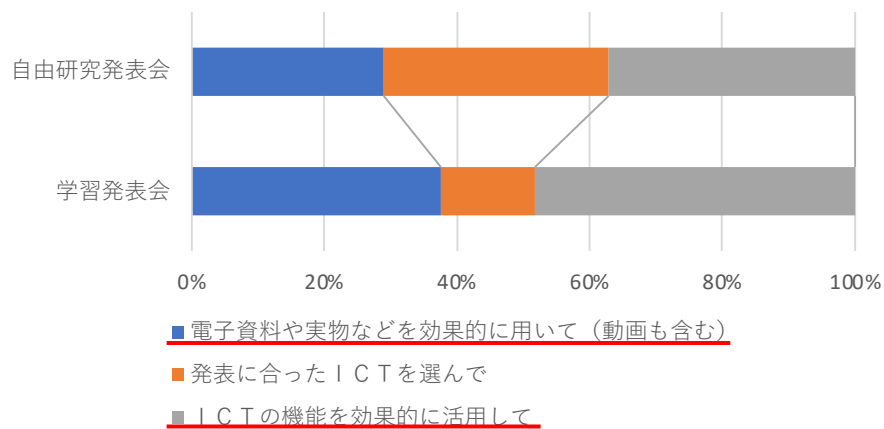
見せ方 (5年)



話し方 (6年)



見せ方 (6年)



# 発表の「話し方」「見せ方」の考察 (R4)

## (成果)

- 「です。ます。」など丁寧な話し方は低学年から意識できている。
- 実物や大型TVなどを通して「見せて、話す」意識はできている。

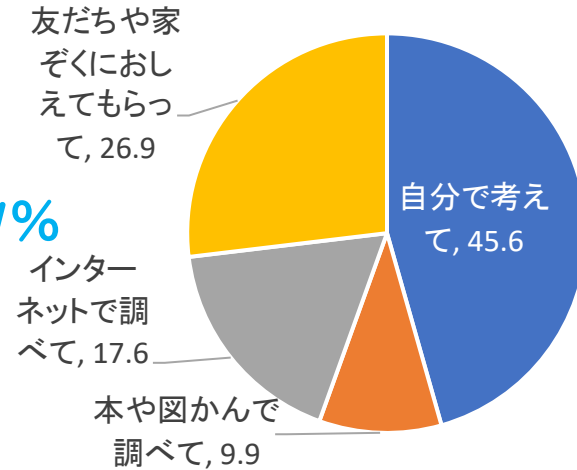
## (課題)

- 評価の観点ごとのばらつきは大きい。
- モデルとなる「話し方」「見せ方」を示す必要性。
- 評価の観点を決めて「話し方」「見せ方」の評価活動を増やしていく。
- 聞き方の力も同時に高めていく必要がある。
- 「見せて、話す」に加えて、**理解を伴って「伝える」力の育成を。**

# 自由研究についてのアンケートから (R4)

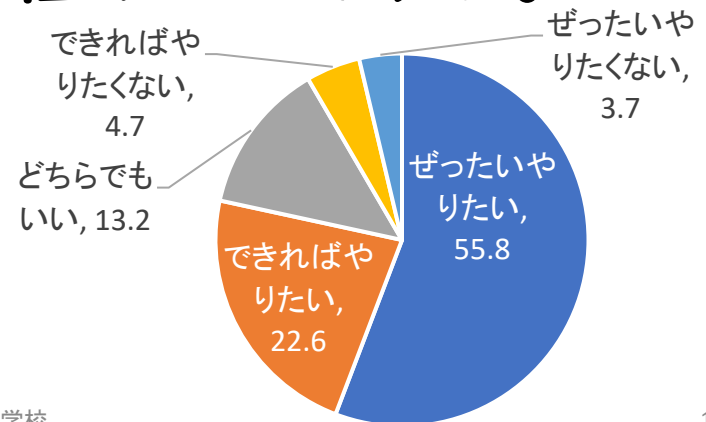
## 【5】自由研究の内容はどのようにして決めましたか。

- **自分で考えて** 45.6%
- **本や図かんで調べて** 9.9%
- **インターネットで調べて** 17.6%
- **友だちや家ぞくにおしえてもらって** 26.9%



## 【9】これからも自由研究に取り組みたいですか。

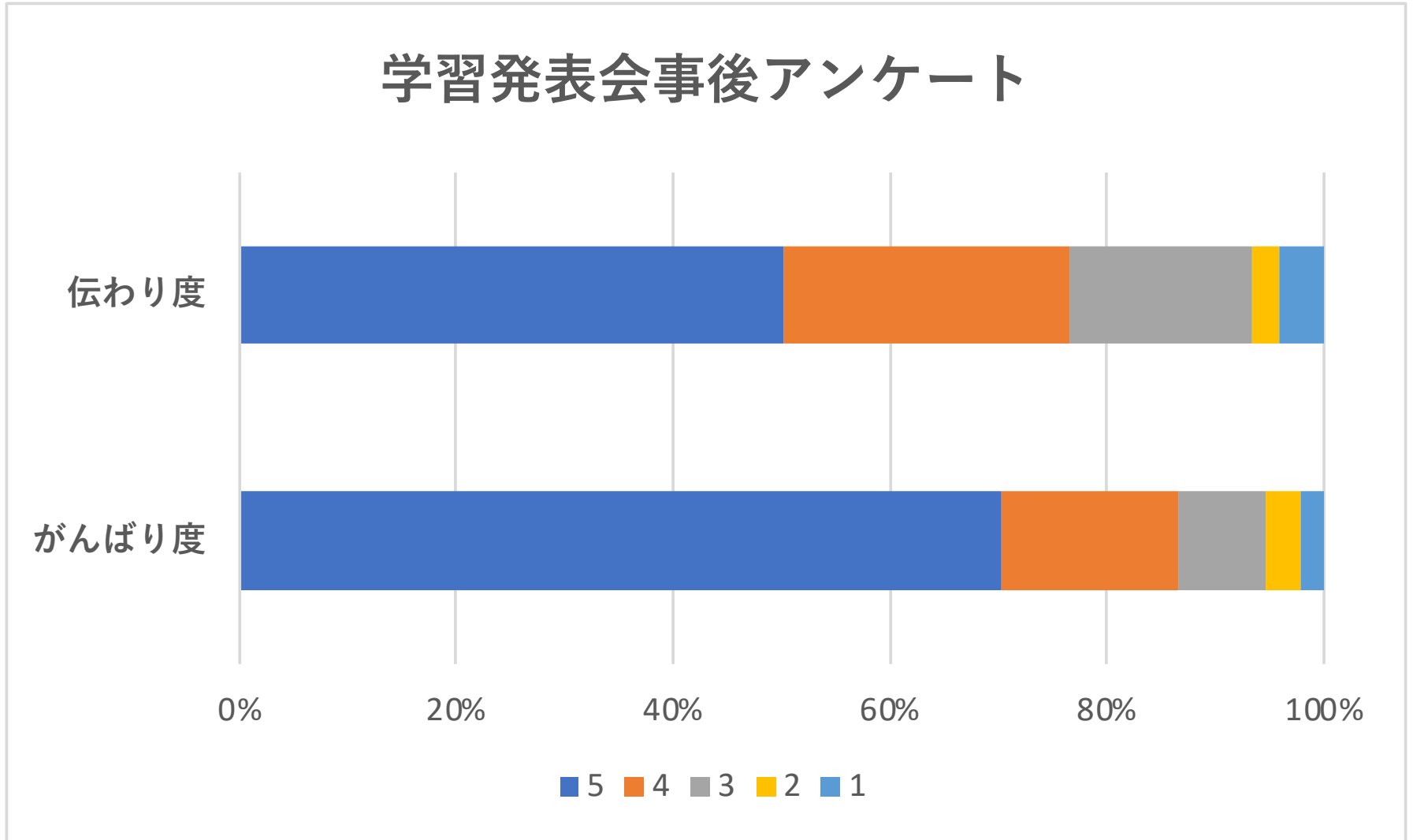
- **ぜったいやりたい** 55.8%
- **できればやりたい** 22.6%
- **どちらでもいい** 13.2%
- **できればやりたくない** 4.7%
- **ぜったいやりたくない** 3.7%



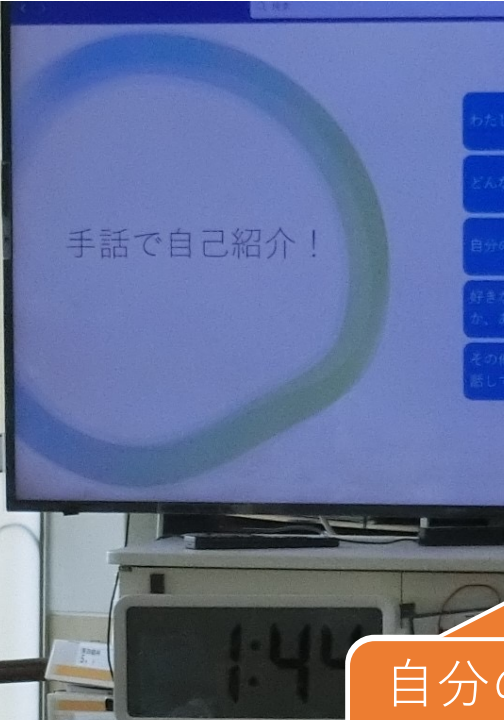
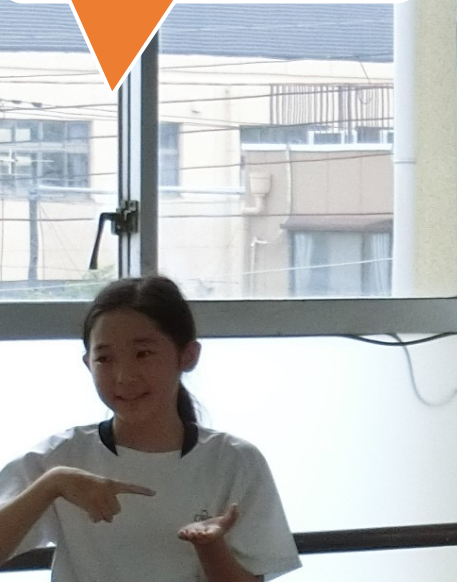


# 学習発表会についてのアンケートから (R4)

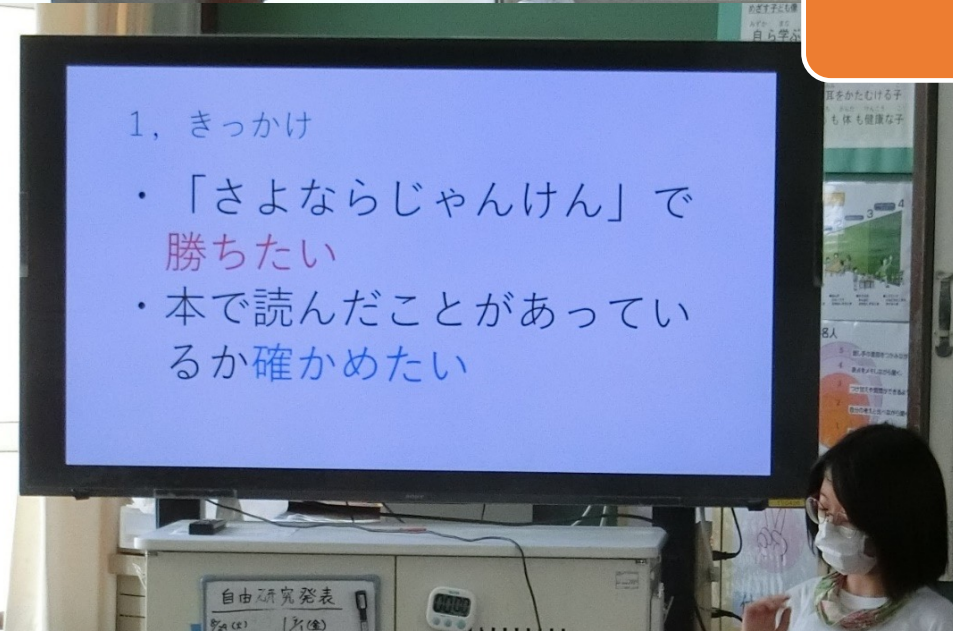
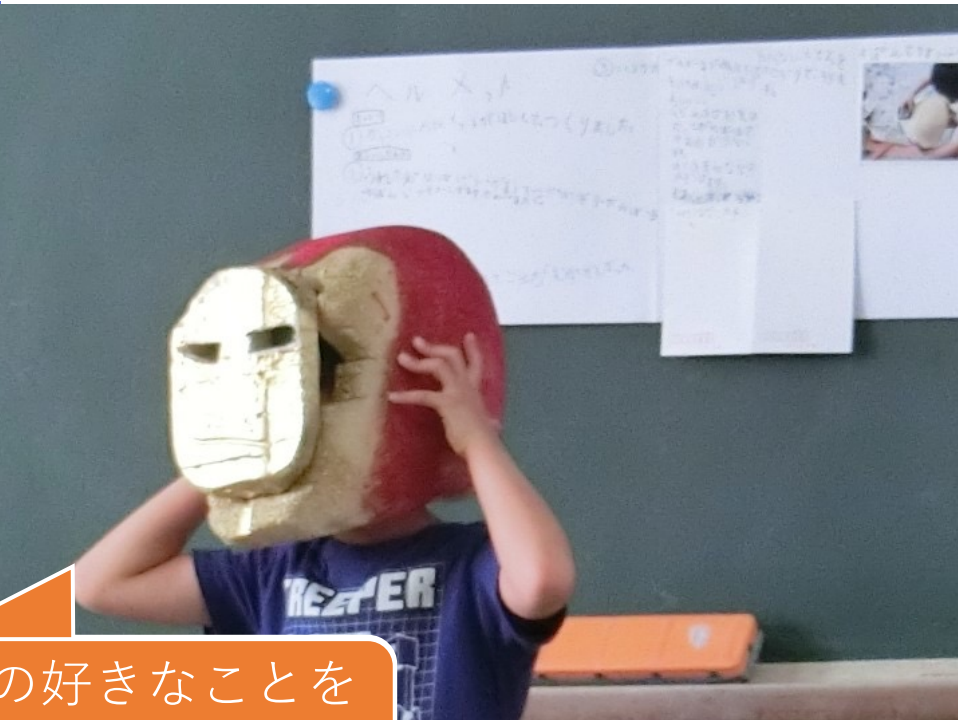
- (伝わり度) 自分のがんばりを星の数で教えてください。
- (がんばり度) あなたの発表は、聞いている人に伝わりましたか？



学んだことを  
生かして

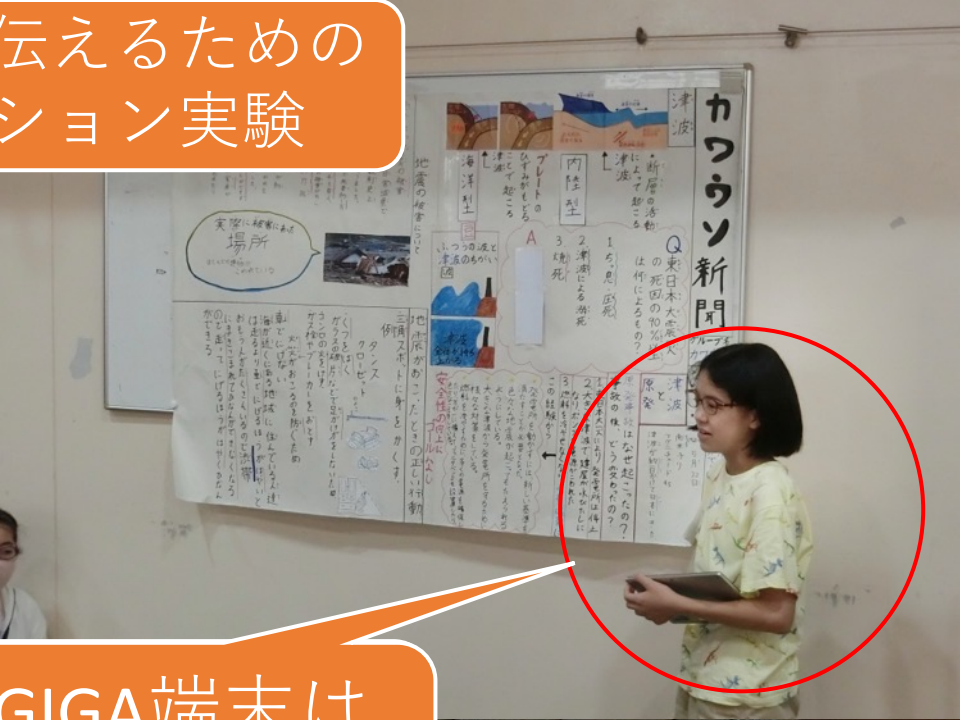


自分の好きなことを  
追究して

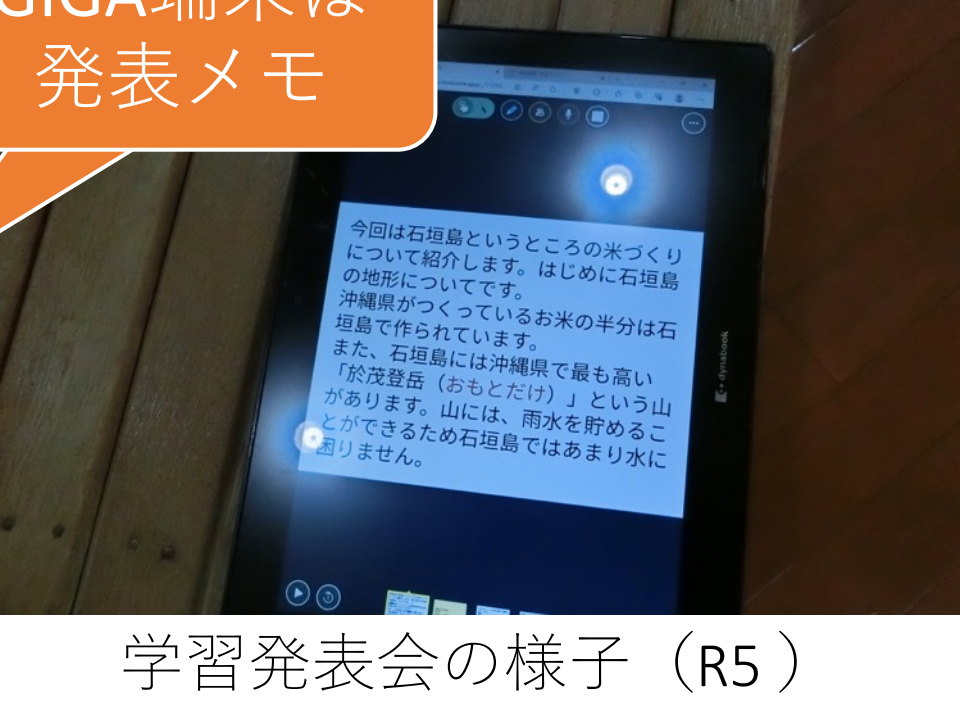
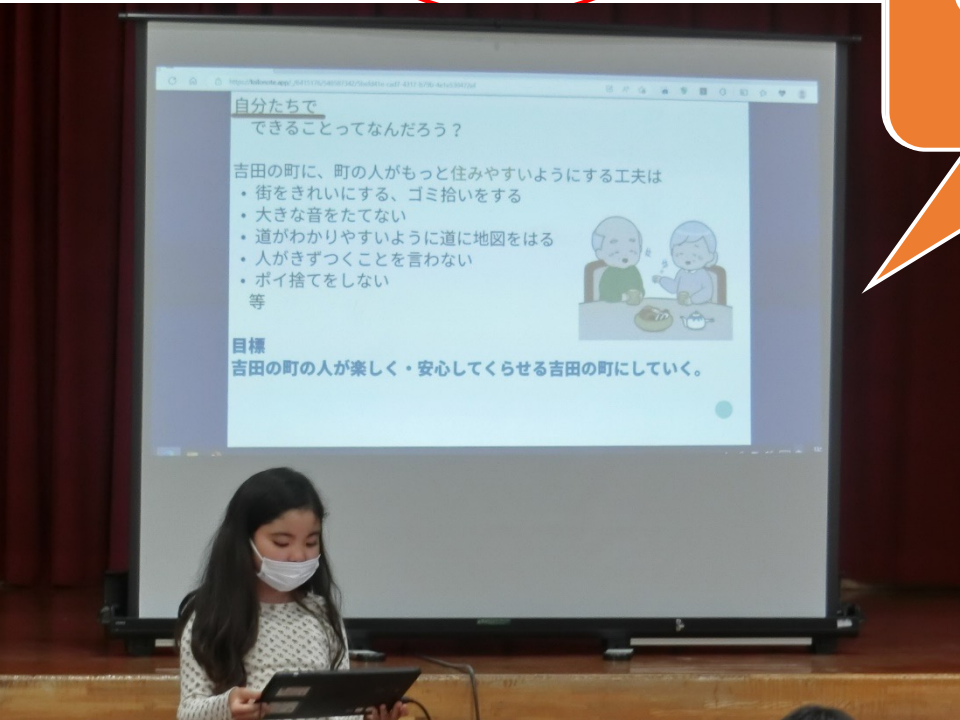


自由研究発表会の様子 (R5)

よりリアルに伝えるための  
シミュレーション実験



GIGA端末は  
発表メモ

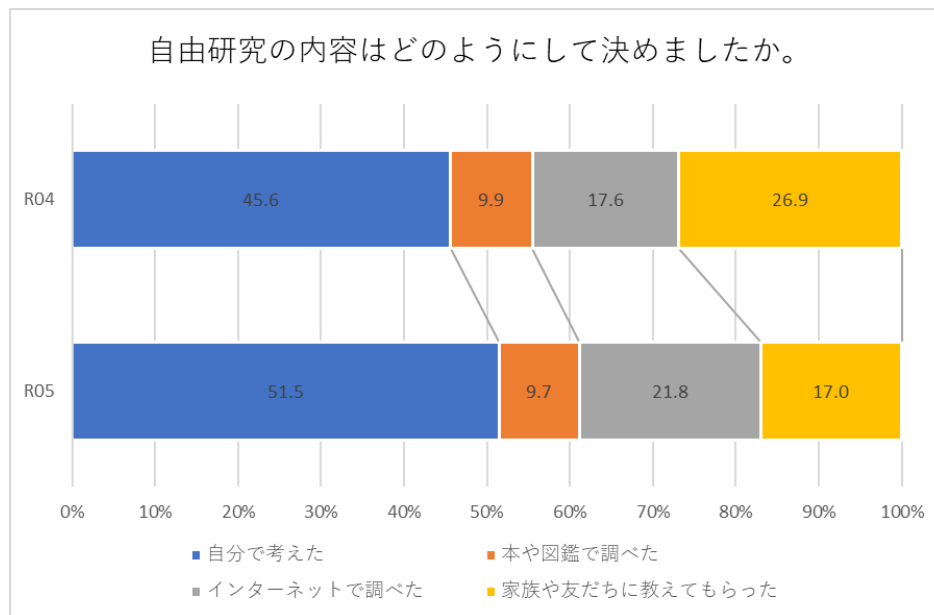


学習発表会の様子 (R5)

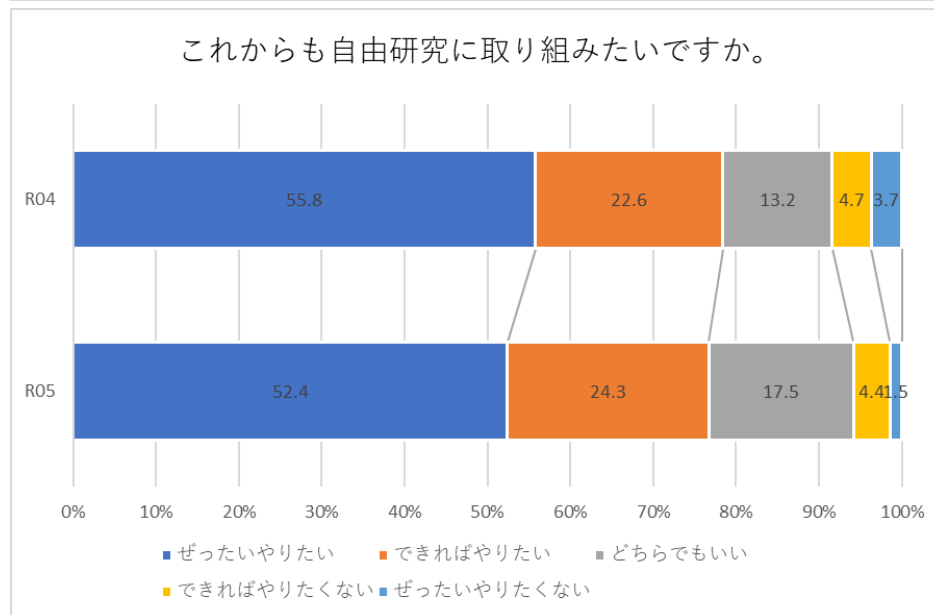
# 自由研究発表会ふりかえりアンケート結果から (R5)

## 令和4-5年度の比較

【4】自由研究の内容はどのようにして決めましたか。	R04	R05
自分で考えた	45.6%	51.5%
本や図かんで調べた	9.9%	9.7%
インターネットで調べた	17.6%	21.8%
友だちや家ぞくにおしえてもらった	26.9%	17.0%



【5】これからも自由研究に取り組みたいですか。	R04	R05
ぜったいやりたい	55.8%	52.4%
できればやりたい	22.6%	24.3%
どちらでもいい	13.2%	17.5%
できればやりたくない	4.7%	4.4%
ぜったいやりたくない	3.7%	1.5%



# 情報活用能力を発揮して、自信をもって表現する子の育成 ～GIGA端末を活用した、主体的・対話的で深い学びをとおして～



すべは四錦の  
子どものため



謝辞：本研究は、特定非営利活動法人情報ネットワーク教育活用研究協議会(JNK4)の「教育実践・支援のためのプロジェクト研究助成」事業を受けたものである。